



2020年9月28日

各位

上場会社名 東京産業株式会社
代表者 代表取締役社長 里見 利夫
(コード番号 8070)
問合せ先責任者 取締役企画本部長 蒲原 稔
(TEL 03 - 5203 - 7841)

中期経営計画「T-Stepup2023」に関するお知らせ

当社は、2020年9月28日開催の取締役会において、2020年5月15日に公表した中期経営計画「T-Stepup2023」について、新たに連結経営目標を策定しましたのでお知らせいたします。

記

1. 2023年3月期の経営目標（連結）

	2020年3月期 (実績)	2023年3月期 (中計)	2020年3月期比
売上高	986億円	1,350億円	+363億円
営業利益	26億円	37億円	+10億円
親会社株主に帰属する 当期純利益	21億円	27億円	+5億円
ROE	8.9%	9.0%以上	

【参考】2023年3月期の経営目標（個別）

	2020年3月期 (実績)	2023年3月期 (中計)	2020年3月期比
売上高	952億円	1,300億円	+347億円
営業利益	25億円	35億円	+9億円
当期純利益	20億円	25億円	+4億円
ROE	8.5%	9.0%以上	

※個別経営目標について2020年5月15日公表資料より変更ありません。

2. 理由

2020年7月10日公表の「有価証券報告書（自2019年4月1日至2020年3月31日）の提出および過年度の提出書類の訂正に関するお知らせ」の通り、当社は連結財務諸表を作成するため、改めて連結ベースでの中期経営計画の経営目標を策定いたしました。なお、連結経営目標以外の中期経営計画の内容につきましては、変更ございません。

中期経営計画「T-Stepup2023」の詳細につきましては、添付資料をご参照ください。

以上

中期経営計画
2021年3月期～2023年3月期
(更新版)

T-STEPUP2023
～ブレイクスルー 次のステージへ～

2020年9月28日

東京産業株式会社

中期経営計画2020の振り返り

T-STARTUP2020(2018/3~2020/3)



3期連続となる過去最高益更新を達成！！

単位：億円

単体決算	(108期)	(109期)	(110期)	
	2018/3	2019/3	2020/3	
	実績	実績	実績	目標
売上高	1,045	1,255	952	1,200
営業利益	21	22	25	-
経常利益	23	25	28	30
当期純利益	16	17	20	20
ROE	7.3%	7.4%	8.5%	-

- 太陽光やバイオマス発電を中心に再エネ事業への積極的関与
 - 太陽光・バイオマス発電所EPC請負、バイオマス燃料供給
- グローバル拠点の拡大
 - バイオマス燃料の供給国・マレーシアや自動車産業が活発なハンガリーへ支店を設置
- M&Aの実施により、商権・製品ラインナップ・顧客層の拡充

収益・顧客基盤の底上げを達成

中期経営計画2020の振り返り



成長戦略振り返り

成長戦略

総括

達成度

エネルギーへの対応深化

- ・ 太陽光、バイオマス発電などの再エネ関連事業を中心に受注、受渡とも順調に推移し、3期連続での最高益達成に大きく貢献した



モノづくりイノベーションへの挑戦

- ・ EV関連など自動車産業向け事業の拡大を図るも、計画比では大きく未達という結果に



新規事業への取り組み

- ・ 企業買収、提携や環境配慮型包装資材の取扱いを開始など、従来の機械商社の枠にとられない事業展開を図ったが規模不十分



グローバルビジネスの強化

- ・ グローバル拠点の拡大や顧客基盤の整備などを積極的に行い、計画水準には僅かに届かなかったものの更なる成長に向けた基盤強化が行えた



人財の育成

- ・ MBA制度導入、研修の充実や全社横断の若手プロジェクトチームを組成
- ・ サテライトオフィス設置などテレワーク対応を推進



T-STEPUP2023 (2021/3～2023/3)

○長期ビジョンに向けて

創立80周年（2027年10月）に「環境・エネルギーに強い機械総合商社」地位の確立

○中期経営計画2023ミッション

組織力と個人力の融合により、環境・社会の変化にスピーディ・柔軟に対応し、サステナブル経営を通じて企業価値の向上を図る

経営目標

連結決算	2023/3	2020/3対比
売上高	1,350億円	+ 363億円
営業利益	37億円	+ 10億円
親会社株主に帰属する当期純利益	27億円	+ 5億円
ROE	9.0%以上	

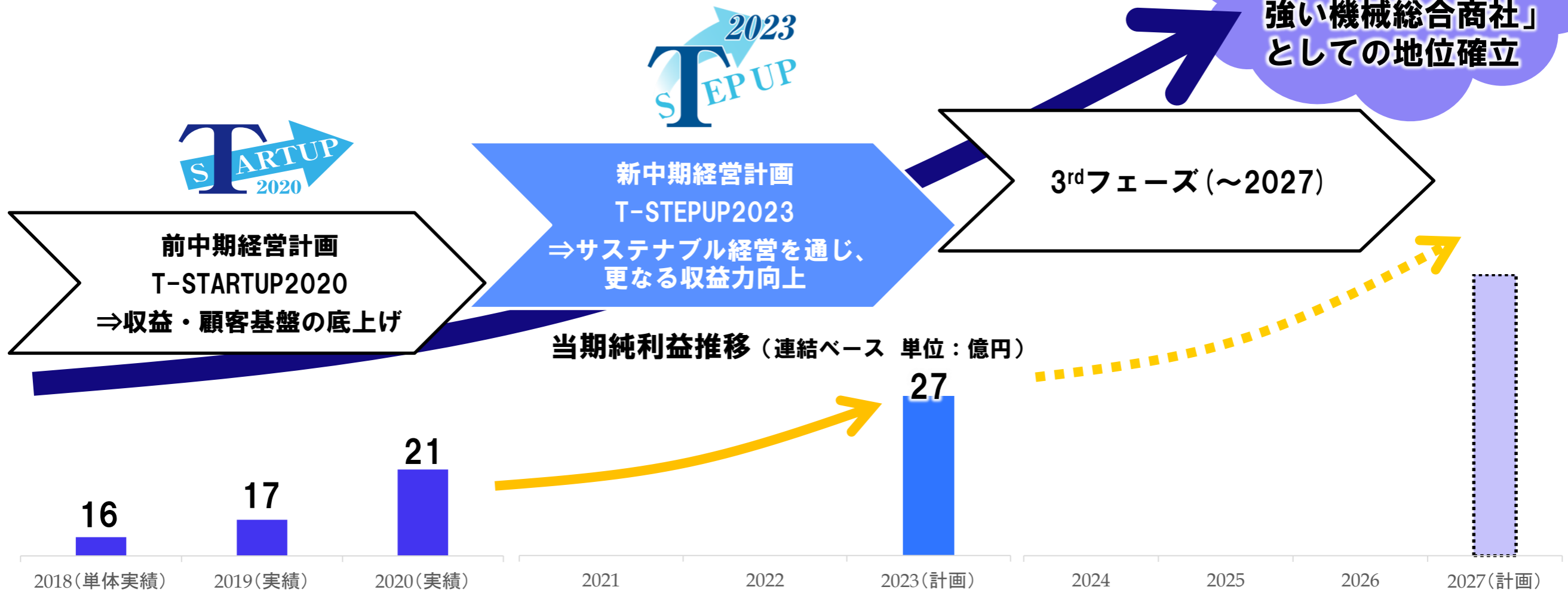
➤ 基盤事業の着実な取込みと成長戦略への取組みにより、連結ベース営業利益37億円、当期利益27億円を目指す

➤ また、資本の効率的活用と生産性向上を図るため、経営指標としてROE9.0%以上を掲げる

中期経営計画 2023

T-STEPUP2023 の位置づけ

長期ビジョンに向けた成長イメージ



T-STEPUP2023 新成長戦略

- 基本は前中計の成長戦略を踏襲
- 「エネルギー対応への深化」は、よりSDGsを意識し「地球環境とエネルギーミックスへの対応拡大」へ変更
- 「人財の育成」は、働き方改革への対応策を織り込み「働き方改革への対応と人財の育成」とする

地球環境とエネルギーミックスへの 対応拡大

- ・ SDGs達成も意識しつつ、エネルギーミックスを通じた電力の安定供給に資するべく、一貫通貫的なエネルギー事業に積極的に取り組む

モノづくり・デジタルイノベーション への取組強化

- ・ IoT・ロボット活用・5Gなど製造業の技術革新やスマートファクトリーへの対応、次世代モビリティ技術への積極的関与ならびにデジタル技術を使用したビジネスの創出と強化

新規事業創出の継続

- ・ 機械商社の強みは残しつつ、M&Aによるメーカーの取込みなど川上からコントロールする体制を構築するなどし、新規事業の発掘・開拓に取り組む

グローバルビジネスの更なる展開

- ・ 海外顧客基盤の更なる拡充と、良質な海外製品の展開力強化、ならびにODA（政府開発援助）等海外インフラ案件にも引き続き参画

働き方改革への対応と人財の育成

- ・ 採用の強化・OJTの充実を通じた人材の早期戦力化・グローバル化・マルチタレント化を図ると同時に業務電子化・効率化などDXを推進し、組織を強靱化

中期経営計画 2023

T-STEPUP2023 資本政策

➤ ROE目標を踏まえ、持続的成長に向けた投資を継続

持続的成長に向けた投資の継続

ROE目標

2023年3月期
9.0%以上

2027年3月期
10.0%以上

■ 重点施策

- ✓ 再生可能エネルギー関連への投資
- ✓ 廃プラスチック問題への対応などSDGsへの取り組み
- ✓ 販売・製造業を問わない資本提携やM&Aの実施

株主への安定的な利益還元

配当性向

30%超を継続して実施

■ 重点施策

- ✓ 安定した利益成長
- ✓ 政策保有株式の縮減およびそれを原資とした自己株買い

中長期的な株主価値の向上を目指す